

税金ってなんだろう？

小学生が税の役割や大切さ学ぶ



税について学ぶ児童たち。

1月27日(木)、七合小学校で「租税教室」が開かれ、6年生の児童25人が税の目的や役割について学びました。

これは、市や氏家税務署が児童・生徒を対象に、国や地方公共団体の財政を支える税の意義や役割を認識してもらい、税の大切さを知ってもらおうと毎年この時期に開いているものです。教室には、市税務課職員が小学校を訪問し、税金の種類や使

い道、いつから税金が導入されたのかなどクイズを交えながら学習しました。また、税金がある世界とない世界をテーマとしたDVD鑑賞なども行われ、児童たちは楽しみながら税の大切さを学びました。

なお、市職員による租税教室は、同小学校のほか、江川小学校、烏山小学校、境小学校でも行われました。

親子の信頼関係を築こう！ 講演会で子育ての悩みを共有

市では、2月22日(月)、つくし幼稚園保護者会「そよ風クラブ」の協力で、保健福祉センターを会場に「子育て講演会」を開きました。

当日は、一般社団法人つばさ代表理事で心理相談員の阿見典子さんを講師として招き、「子育て中の保護者へのメッセージ」と題した講演会が行われました。講演では、当日参加した25人の保護者からとった子育ての悩み

に関する事前アンケートをもとに、その解決法や対応法が話されました。阿見さんは、「親子だからといって最初から通じ合っているというのではない。子育てをうまくやるには、子どもの気持ちに耳を傾け、安心して話せる環境づくりをすることが大切」と話し、親子間で信頼関係を築いていくことの重要性を参加者に訴えかけました。



保護者に子育てのポイントを伝える阿見さん。

南那須中学校で立志式 大人に向けた 決意表明新たに



目標などを発表した「一人一文字宣言」。

2月18日(木)、南那須中学校で「立志式」が行われ、同校の2年生の生徒95人が将来の目標などを発表しました。

この立志式とは、満14歳の立春の日、これから進む道について「志を立てる」誓いをし、実現に向けて精一杯努力する決意を表明する行事です。

当日は、各クラスの代表による作文発表や、これからの目標などを漢字一文字で表す「一人一文字宣言」が行われました。その中では、「どんなに辛い壁にぶつかってもあきらめないで」「越えていけるようになりたい」、「『真』の自分を見つげるために、今しかできないことをとどどんと挑戦していく」など様々な漢字に込めた思いを発表しました。

生徒会長を務める同校2年の池尻竜太郎さんは、「私生活、学校生活ともにけじめをつけ過ぎていきたい。特に残りの中学校生活は、現3年生の期待を背負い、次に繋げられるような生徒会運営をしていきたい」と話していました。

子どもたちと烏山線桜並木実行委員会 JR烏山線3駅に飾る鉢植え作り

烏山線桜並木実行委員会小堀恵美子代表では、1月20日(木)に荒川小学児童保育、1月27日(木)に烏山小学児童保育を利用する子どもたちとJR烏山線3駅に飾るバ

これは、烏山線沿線に花などを植えることで美しい景観を作り出すこと、そして、子どもたちの郷土愛を育むために同実行委員会が昨年に続き実施したもの

外国人による日本語で話す発表会

13人がそれぞれの思いを発表



日本語で発表した13人の外国人。

2月21日(日)、烏山公民館で市国際交流協会(東原民範会長)主催による「第3回外国人による日本語で話す発表会」が行われ、85人が観覧に訪れました。

当日は、中国やインドネシア、メキシコなど7か国出身の外国人総勢13人が「日本に来て思ったこと」「将来の夢」などそれぞれが設定したテーマで発表を行いました。発表した13人は、最も長い人で在日25年、最も短い人

は4ヶ月でしたが、全員がすべて日本語で、自分の思いを観覧者に語りました。また、発表者全員に対して、発表を記念して賞状と記念品が手渡されました。

その後は、アトラクションとして、こども常磐津教室に通う子どもたちにより、「かえるのうた」「市民の歌」「子宝三番叟」などが三味線で演奏され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

烏山保育園で発表会

2月19日(金)、烏山保育園で幼児組による発表会が行われ、大勢の保護者が見守る中、園児たちが日頃の練習の成果を発揮しました。その様子を写真で紹介します。



上:年少・年中組による歌の発表。
下:毎年恒例となった劇「月のうさぎ」。

シリーズ

市の文化財

第59回

市指定有形文化財(工芸品)

でんほりけぐんじんようゆがまつけたりはこ
伝堀家軍陣用湯釜 附箱



寛文元年(1661)、烏山城主堀親昌が滝田村に東光寺を建立した際、堀丹後守秀政所用の湯釜を進上したと木箱に記されています。寛文12年(1672)、堀家が信州飯田(長野県飯田市)へ国替えとなり、その後、武茂郷の庄屋大金重貞の所有となりました。

堀秀政は親昌の祖父にあたり、織田信長に小姓・側近として仕え、信長没後は豊臣秀吉にも重用された名将です。文武に優れ「名人久太郎」などと尊称されました。

茶器ではなく、湯沸し釜として使用されたと思われませんが、烏山と堀家との関係を示す歴史的な遺品として貴重です。

ンジの鉢植え作りを行いました。



鉢植え作りをする児童たち。

今年も、赤や黄、紫などのパンジー40個の鉢植えを製作。子どもたちは手をつつ黒にしなが、和気あいあいと楽しそうに取り組んでいました。その後、完成した鉢は、大金駅、小堀駅、烏山駅に運ばれ、駅の入り口を華やかに飾りました。

また、烏山駅では烏山高校生徒会が水やりなどの世話を担当するなど、景観の維持にも努めています。小堀代表は、「地域全体で烏山線沿線の景観を美しく保てたら嬉しい」と話していました。



小学校を探検!

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112



上:市弓道部員による迫力満点の弦打ち。
下:がらまきに大勢の参拝客が押し寄せる。

八雲神社で伝統の追儺祭

八雲神社では、節分の日の2月3日(例)、毎年恒例の節分行事「追儺祭」が盛大に開かれ、境内は大勢の参拝客でにぎわいました。

追儺祭は、同神社の年間行事の一つで、毎年、その年の山あげ

祭の当番町が中心となっており、行われているもの。当日は、今年の当番町「金井町」によって仕切られました。

午後7時から厄除けや開運祈願などの神事の後、市弓道部員による弦打ちが行われ、鬼面に

向かって矢が放たれました。また、年男女等によるお菓子やおひねりなどの縁起物をまく「がらまき」も行われ、境内いっぱい

に詰め掛けた参拝客は福を授かるうと、われ先にと手を伸ばしていました。



ワークショップを楽しむ参加者。

なすかのX Action-BIG MAMA Tinポ企画! ワークショップでバレンタイン満喫

市まちづくりチャレンジプロジェクト事業に取り組む、なすかX Action(高橋誠一代表)では、那珂川町で手作り雑貨などを制作するグループBIG MAMA(大嶋恵美代表)と協力し、2月13日(日)、旭2丁目の絵本喫茶ばたぼんを会場に、「バレンタインスペシャルワークショップ」を開きました。

当日は、ツールペイントによるストラップ作りやシフォンケーキのラッピング体験、カラーセラピーのほか、「BIG MAMAメンバー」が制作した小物の販売が行われ、多くの親子連れでにぎわいました。高橋代表は、「近隣市町で活動する団体とのつながりを持ち、地域を盛り上げていきたい」と話していました。

レディオベリ婚活バレンタインパーティー 7組のカップルが誕生!

2月14日(日)、レディオベリイベントスペースで、那須烏山市・那珂川町出会い応援プロジェクト「婚活バレンタインパーティー(南那須結婚相談所連絡協議会主催)」が開かれ、男女30人が交流しました。当日は、レディオベリ人気DJ

Jの佐藤望さんと那須烏山市出身の棚橋麻衣さんが司会を担当。パーティーでは、レストラン「クローバー」提供のスイーツビュッフェを楽しみながら交流を深めました。その結果、7組のカップルが誕生。成立した記念に「烏山製茶工場」の紅茶セットや「和紙の里」和紙手すき体験券など豪華プレゼントが贈られました。



人気DJを司会に進められたバレンタインパーティー。

鬼はくそと! 福はくうち! 七合保育園で豆まき

サッカー・スピードスケート・空手道 続々と全国大会へ出場！



八田選手。

目指すはプロサッカー選手 八田選手が全国大会で大活躍

矢板市で活動する「ヴェルフェたかはら那須U-12」に所属する烏山小6年の八田温樹選手(中央1丁目)が、12月25日(金)から29日(火)にかけて鹿児島県で開催された「第39回全国日本少年サッカー大会」に出場し、全国8921チーム中19位の成績に輝きました。

今年度は、県大会で3連覇、関東では5位の優秀な成績を残す同チーム。八田選手は、ゴールキーパーとしてチームの勝利に貢献し、11月に行われた「第44回栃木県少年サッカー選手権大会」では、優秀選手に選ばれました。「プロを目指し日々努力していきたい」と話す八田選手。今後の活躍が期待されます。

黒川選手スピードスケートで スペシャルオリンピックス出場

小倉の黒川秀太選手が、2月12日(金)から14日(日)にかけて、新潟県で開催された障がいのある人によるスポーツの全国大会「第6回スペシャルオリンピックス日本・冬季ナショナルゲーム新潟大会」においてスピードスケートショートトラックに出場しました。



黒川選手。

2年前からスピードスケートを始めた黒川選手。週に1回日光市での練習を重ね、今回初めて同大会に出場しました。県内からは4人という少ない出場枠。大会を終え、「これからも楽しく頑張っていきたい」と話していました。

南那須空手道スポーツ少年団 田崎選手・矢代選手が夢の全国へ…



田崎選手(左)・矢代選手(右)。

南那須空手道スポーツ少年団に所属する、南那須中2年の田崎裕乃選手(上川井)と同中2年の矢代力音選手(大金)が、3月28日(月)から30日(水)にかけて北海道で開催される「第10回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会」に出場します。

昨年9月に開かれた県予選では、田崎選手が女子個人形・組手とも中学2年生の部で準優勝、矢代選手が男子個人組手中学2年生の部で3位と優秀な成績を収めました。全国出場枠が狭い中で、同少年団が3枠を獲得することは前代未聞。両選手とも「ベストを尽くし、優勝を目指したい」と意気込みを語ってくれました。



手作りの作品が並んだ手織り展。

あすなる手織り展 手作りの作品450点を展示

1月29日(金)から31日(日)の3日間、市社会福祉協議会の「あすなる作業所」で「手織り展」が開かれ、地域住民など約180人が訪れました。

会場にずらりと並んだバッグや衣服、アクセサリ、小物などはすべて「あすなる作業所」の利用者によるハンドメイド。一つ

一つ手塩にかけて作られた作品約450点が展示販売され、多くの人が作品を手にする姿が見られました。

また、30日(日)には、小物作りワークショップが行われ、参加者たちは手織りでマフラーなどを製作しました。



果敢に鬼に立ち向かう園児たち。

2月3日(火)の節分の日、七合保育園で無病息災を祈願し、豆まきが行われました。

当日、園児たちは、園に突如現れた2匹の鬼に向かって「鬼は〜そと、福は〜うち」と大きな声で豆まきをしました。中には、迫力満点の鬼に驚いて泣いてしまう園児もいましたが、全員が力を合わせて鬼を退治しました。

おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 興野 蒼季(陽洋・瞳) 興野
 菊地 紗和子(新一郎・由佳) 下境
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●風林火山第15回全国武道空手道交流大会 (1月10日(日)、国立代々木競技場第二体育館)

【中学生女子 伝統形】▽優勝：田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)

【中学生女子 伝統組手】▽第3位：田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)

●第21回全国道場選抜空手道大会(1月17日(日)、和光市総合体育館)

【中学生女子 形】▽第5位：田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)

●寄付ありがとうございます

■市立図書館児童用図書寄付金

・烏山ロータリークラブ(萩原宣子会長から1万2千円が寄付されました。)



春の訪れを告げるかのように咲く梅の花。



祝・立志!(南那須中学校立志式より)。

日産自動車から電気自動車を無償貸与 環境に優しいまちづくりを!



2月12日に行われた納車式。

市では、地球温暖化対策や災害時の蓄電池として活用するため、日産自動車から電気自動車「e-NV200」1台の無償貸与を受けました。

これは、日産が全国的に展開している電気自動車活用事例創発事業に市が活用案を提案し、採択されたものです。

2月12日(金)に市役所烏山庁舎で行われた納車式では、大谷範雄市長が「安心安全な環境にやさしいまちづくりを目指し活用していきたい」と謝辞を述べました。市では、市内公共機関の物品運搬や災害発生時にはガソリンに頼らない車両として物資や人員輸送に活用していきたいと考えています。

市内で一斉に「しば焼き」

耕作地やあぜ、堤防などの雑草を焼却することで害虫を駆除し、農業生産の安定を図るため、2月7日(日)、市内一斉に「しば焼き」が行われました。

当日は、消防団や消防署、警察署の協力のもと、パトロールや防災無線を使った呼びかけをするなど、安全を確保しながら行われました。



新中1クラス 3月12日(土)スタート!

平山塾

☎83-1915
塾長 平山政市

新中1・2クラス生徒募集中

- ①教科書にそって英語数学を学習
- ②定期テスト・実力テスト前の5教科準備学習

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

鳥山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

優雅に空を舞う白鳥。



大桶運動公園付近で 迷い白鳥を発見!?

2月中旬頃、大桶運動公園付近で1羽の白鳥が目撃されました。群れで移動する白鳥が1羽で行動するのは珍しく、地域住民の間で一役有名になりました。今頃どこにいるかな…?

市の人口

2016.2.1現在
()対前月比

人口 26,881 (-39)

男 13,280 女 13,601

出生 4 死亡 26

転入 34 転出 51

世帯数 9,459

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○先日ですね、嬉しいことがありました！な…なんと、ファンレターが届いたのです！内容はというと、「いつも編集後記楽しみにしています。これからも頑張ってください(市内70歳男性)」といったものでした。○ファンレターなんて大げさかもしれませんが、とにかく嬉しかった…！実を言うと、編集後記を考えるのにけっこう時間をかけているのです。たまに「嘘でしょ～？」なんて言われますが嘘ではありません。ありのままの日常です(笑)
○まあ、そんな会話をお馴染みの父と母に話したわけですが、「私たちのおかげじゃない？」と。しまいには、少しでも面白いネタがあると、編集後記にどう？と言わんばかりネタを披露してくれるようになりました…
○ということで、皆さんに読んでもらっているというプレッシャーを感じながらも、これからも広報記事ともに旬なネタをお届けできるように頑張っていきたいと思います！ファンレターもまだまだ受け付けますよ～！(すみません、冗談です…)

●一般図書●

『まんがで身につく幸福論』小川 仁志
『パワースポットの歩き方』 天宮 視子
『うちの子は育てにくい子』アマミ モヨリ
『夫婦という病』 岡田 尊司
『カラダが変わる！油のルール』守口 徹
『自分のままで暮らす』吉沢 久子
『おせっかい屋のお鈴さん』堀川 アサコ
『天才』 石原 慎太郎
『赤毛のアンナ』 真保 裕一

●児童図書●

『UMA未確認生物大図鑑』
未確認生物ミステリー研究会
『イヌとネコのふしぎ101』
武内 ゆかり
『感染症キャラクター図鑑』岡田 晴恵
『せかいでいちばんほしいもの』
さとう まきこ

『ちょちょちゃん』おーなり 由子
『ちいさなごるり』松居 スーザン
『はいチーズ!』きしら まゆこ
『おかしなもりのおかしないえ』中村 徹
『かあちゃんえほんよんで』かさい まり

●CD●

『福の音』 福山 雅治
『青の光景』 秦 基博
『藤 あや子大全集 シングルベスト』
藤 あや子
『ユカイなKidsソング』
ダイヤモンド・ユカイ
『birth』 宮本 笑里
『#1インフィニティ』マライア・キャリー
『バーニング・ブリッジズ』
ボン・ジョヴィ
『シングルス』 マルーン 5

川柳

篠崎 酔月 選

豆知識知らぬ事まで知った振り
石川由美子(興野)

器ではないと会長遠慮する
吉澤 恒子(落合)

埋もれたお字示す古い地図
小口 格男(興野)

穴埋めにそっとへそくり当てました
五月女佳子(谷浅見)

三方は思ひ出だけの炬燵かな
鈴木美江子(野上)

乗初や只今アキユム充電中
伊東 澄子(中央)

星空に百八の鐘溢れけり
水野 信一(月次)

初雪の夜景は旅の気分なり
高野 洋子(興野)

文芸

短歌

福澤 悦子 選

○ 人生のまだ道中の新成人 輝く夢路
をひたすら無垢に
三森 純子(中央)

○ はなやかに燃えあがりたるどんどん
きすぐに沈みぬわが生きもまた
須藤 やす(志鳥)

○ 鉢植えに水注ぎやれば潤いて水仙の
芽のみどり出揃う
川手 トヨ(金井)

○ きし古稀の歳越えんとす
微笑める遺影に独り向かい居て母逝
川保登志子(旭)

作品募集
毎月10日までに、総合政策課広報統計担当
〒321-1069 那須烏山市中央1丁目1
番1号 あて、郵送で作品をご応募ください。

ぼくたち！わたしたち！もうすぐ1年生 年長組園児が小学校探検

市内の3保育園と1幼稚園では、4月から小学校に入学する年長組の園児を対象に「小学校探検」を行います。

1月22日(金)には、すくすく保育園の園児19人が烏山小学校へ、27日(木)には、七合保育園の園児15人が七合小学校へ、2月12日(金)には、ここにこ保育園とつくし幼稚園の園児70人が江川小学校と荒川小学校へそれぞれ訪問しました。

訪問先の小学校では、1年生のお兄さんお姉さんが出迎え、学校生活の紹介やレクリエーション、校内探検などで交流を深めました。校内探検では、1年生の児童が園児の手をとり、「職員室」や「校長室」、「体育館」など説明を加えながら案内しました。最初は、緊張気味の園児でしたが、初めての体験に目を輝かせ、4月からの学校生活に期待が膨らんだようです。



①



②



③



④

①1年生が考えたお店屋さんごっこで交流する園児と児童(烏山小学校) ②職員室を見学(七合小学校) ③初めて来る小学校に緊張する園児たち(江川小学校) ④学校探検で音楽室を案内する児童(荒川小学校)。

市とJR東日本が共同開発

那珂川のサケを弁当に

JR東日本と市では、那珂川を遡上したサケを使った「那須烏山鮭ほぐし弁当」と「那須烏山開運のほり鮭天そば」を共同開発し、2月25日(木)から3月9日(木)にかけて、1日15食を限定としてJR宇都宮駅で販売しました。

これは、同社が沿線自治体と進めるプロジェクトの一環で、各地の特産物を生産から加工、販売まで手がける6次産業化を目指すものです。過去には、青森県産ブドウの果実酒や長野県産シカ肉のハンバーガーなどを開発していますが、県内



▲サケを使用した「那須烏山鮭ほぐし弁当」。
▲JR宇都宮駅で行われた発売記念イベント。

での商品化は初めての試みとなりました。

サケは、市内の漁協の許可を得て昨秋、滝田の「矢沢のヤナ」で捕獲しました。加工は宇都宮市の水産加工会社が行い、弁当はサケフレークに加工し、おにぎりに。そばは、栃木県産柚子果汁入りタレに付けた身を天ぷらにしました。

販売初日には、JR宇都宮駅イベントスペースで発売記念イベントが行われ、100個用意した弁当は早々に完売。サケのおにぎり試食会や市の特産品が当たる抽選会なども行われ、にぎわいをみせました。

有料広告

ナスカラ市場

おかげさまで多数の注文を頂いている
「烏山山あげ牛」ご家庭用できました!!
ナスカラ市場で店頭販売中!

リブ・ロースステーキ 3,500円(税別)

烏山山あげ牛 3,500円(税別)

大金駅前観光交流施設「ナスカラ市場」 栃木県那須烏山市大金155-4
☎0120-83-1147